

令和8年度 芦屋町歴史民俗資料館事業計画

芦屋町の貴重な歴史・文化を後世に伝えるため、各種事業を実施する。

1. 特別企画展の実施

(1) 「八朔の節句パネル展」 [9月1日(火)～9月23日(水祝)]

「芦屋の八朔行事」は、国の「記録保存等の措置を講ずべき無形民俗文化財」に選択されている。パネル展を通して、芦屋町の伝統行事である八朔の節句を分かりやすく紹介することを目的とする。また、わら馬やだごびーなの前を写真撮影スポットとし、八朔の節句体験をとおして、来館者の満足度の向上を図る。あわせて、筑前芦屋だごびーなとわら馬まつりと同時期に開催し、町内周遊の促進も図る。

(2) 「芦屋の空也上人一時宗安長寺の世界」 [10月9日(金)～令和9年1月11日(月祝)]

時宗安長寺は、芦屋町船頭町に所在した寺院である。安長寺の本尊である空也上人像は、福岡県指定有形民俗文化財に指定されるなど、ゆかりの文化財は、歴史的な価値の高いものである。これらの文化財が芦屋町に寄贈されたことを記念して、特別展を開催する。

2. 指定民俗行事の記録・調査・継承・育成

(1) 八朔行事の継承、育成

わら馬づくり講習会を行い、八朔行事を周知する。実際に八朔行事を実施される方には、写真撮影・寄贈を行う。

(2) はねその継承、育成

講習会や盆踊りなど、はねそ保存会の活動を支援する。
木屋瀬宿場まつり出演のサポート

3. 指定文化財の保存・活用

(1) 町指定文化財の新規登録

新たな文化財の指定に向け、検討を行う。

(2) 県・町指定文化財の保存・活用

定期的に県・町指定文化財の見回りを行い、適切な保存に努める。併せて、解説や展示等での活用を図る。

4. 小中学校との連携による、児童・生徒の郷土史理解に向けた支援及び事業の実施

小中学校の施設見学や職場体験などに協力し、児童・生徒の郷土史への理解を深める。

5. 各種講座の実施

- (1) 化石探検 [6月13日(土)]
化石が出土する堂山周辺において、化石に詳しい講師を迎えて化石を探す体験を行い、地域の歴史や自然についての知識を深める。
- (2) 八朔のわら馬づくり講習会 [5月24日(日)]
わら馬づくりを実際に体験してもらい、次代への製作技術の継承を図るとともに、地域の民俗行事への関心を高める。
- (3) 夏休み芦屋の歴史クイズラリー [7月18日(土)～8月23日(日)]
夏休み期間に合わせ、芦屋町の歴史に関するクイズを出題し、こどもたちに、芦屋町の歴史に関心をもってもらおう。
- (4) 歴史体験講座 [①4月29日(水祝)、②8月11日(火祝)、
③令和9年1月31日(日)、④2月7日(日)]
昔のものづくりを体験してもらうことで、当時の人々の生活について理解を深め、歴史や民俗への関心を高める。
① 大珠づくり
② 土器づくり
③ 錫の古銭づくり
④ 拓本体験
- (5) ワークショップ「粘土でだごびーなづくり」 [9月13日(日)]
「八朔の節句」パネル展の開催にあわせ、だごびーなづくりを開催する。誰でも参加できるように、今回は米粉の代わりに粘土で作成し、芦屋の八朔行事の周知を図る。

6. 収蔵史資料の整理・保存、データベースの保存

新規収蔵資料の登録・既存収蔵資料の整理などを行い適切に管理する。

7. 芦屋町郷土史研究会への活動支援

芦屋町郷土史研究会が主催する、学習会や史跡めぐり等の事業について活動を支援する。

8. 町内に残る民俗・芸能に関する調査

町内に残る民俗・芸能について、聞き取りなどにより調査を行う。(随時)